

支えあつて子育てを

高梁保育園 長櫓久子園長

子育て中は、育児で悩んだり、分からないことなどがたくさんあると思います。最近、雑誌やインターネットなど、さまざまな情報があつて、一時的には解決できるかもしれませんが、身近にいるおばあちゃんや先輩お母さんなどのアドバイスがあつたら、本当に助かるのではないのでしょうか。子育ては、今も昔も大変なことです。確かに最近、便利な育児グッズが出回つており、助かる部分もあると思いますが、便利さゆえにそれが「手抜きグッズ」ともなりかねません。愛情を持って、手間をかけることも大切なことです。

保育サロンでは、いろいろな遊びを通じて親も子もふれあうことができます。保育士が持つノウハウや、園の遊具なども用いて行います。手づくりおもちゃの作り方など、家庭での子育てに役立つものもあると思います。

さまざまな親と子の接し方や子ども同士がどうかかわりながら遊んでいるのか



を見て、家庭では分からないことを発見できることもあります。排せつの遅れを心配するお母さんが、保育園での指導を見聞きし安心されたといったこともその一例です。また、大勢の子どもと接することによって、発達バランスの悪い子どもや気になる行動をとる子どもの対応について、相談を受けることもあります。

核家族が多い中、母親たちの孤立化が進んでいるとよくいわれています。また、「いいこと」「悪いこと」の区別ができていない子どもが増えています。

それぞれが自分の生活を重視していることも、その一因なのではないでしょうか。私たち大人がきちんと教えてあげなければなりません。家族でよく話し合っていたら、地域でも子育てに力を貸していただきたく願っています。

保育サロンでは、子育て相談も受け付けています。一緒に子育てを頑張りましょう。

保育サロンで広がる輪

4月から保育園に入園させる予定なので、少しでも雰囲気慣れさせようと参加しています。初めは部屋に入るだけで泣いていたのですが、今は何とか子ども同士で遊ぶことができるようになってきました。育児などで分からないことなども教えてくれるので助かっています。

澤根 由華さん(33)・俊介くん(2) <原田北町>



近所のお友達と誘い合ったりして参加しています。子どもも楽しんでいるようで、最近では座ってお話も聞けるようになってきて、協調性も出てきたように思います。サロンでは育児に関する講座もありますが、食育講座で習ったことを家でもやってみて役に立ちました。

織田 歩美さん(31)・諒一郎くん(3)・恭樺ちゃん(1) <横町>



平成20年度 保育サロン年間スケジュール

開催日	内 容
4/12	保育園のおもちゃで遊ぶ
4/19	戸外の総合遊具で遊ぶ
5/10	宝探しゲーム(いちご狩り)をする
5/24	コンビカーで遊ぶ
6/7	砂場遊びをする
6/21	新聞紙を使って遊ぶ
7/5	七夕飾りを作る
7/※	夕涼み会に参加する
8/2	水遊びをする
8/9	
9/6	布を使って遊ぶ
9/※	運動会に参加する
10/11	運動会ごっこをする
10/18	戸外で体を動かして遊ぶ
11/1	手づくりおもちゃで遊ぶ
11/22	食育についての話を聞く
12/6	楽器を作って演奏する(クリスマス会)
12/※	発表会を見る
1/17	お正月遊びをする
1/24	鬼のお面を作る
2/7	体を動かして遊ぶ(ウレタンマットを使って)
2/21	おひな人形を作る
3/7	親子でふれ合い遊びをする
3/14	お別れ会をする

※は、日程が決まっています。
(注)天候・都合により内容が変更になることがあります。



私たちも お手伝い

写真・前列左から
善村 綾乃さん(東広島市)
山下 千草さん(高知市)
田川 恵梨さん(出雲市)
秦野えりなさん(福岡県鞍手町)
※()内は出身地

保育サロンでは、吉備国際大学社会福祉学部子ども福祉学科の学生もボランティアとしてかかわってくれています。

保育士等子どもにかかわる仕事に就くことを目指す一年生の彼女らにとっては、大学とはまた違った“現場”での活動に得ることも多いようです。

各地域に母親クラブ

市内には各地域に16(高梁10、有漢1、成羽3、川上1、備中1)の母親クラブがあります。

母親クラブは、おおむね1歳から4歳までの幼児とその母親や家族の会です。会員相互の活動により地域内の母親同士、子ども同士の交流を深めながら母と子の健康、育児やしつけなどを学習し、明るい健康的な子どもを養育することを目的としています。

子育ては、家庭はもちろん、地域とかかわりながら行うことが、子どもの成長のためにも重要なことです。(26ページに関連記事)

子育てを

応援しています

市は、乳児健康診査や育児相談、また赤ちゃんを持つ家庭を保健師が訪問するなど、子育てのお手伝いをしています。育児について聞きたいことなどがあれば、こうした機会を利用して

いただいたり、保育サロンに参加した時にも気軽に相談していただければと思います。

また、各地域には愛育委員がいますので、地域での子育てなどを相談することもできます。

一人で悩まず、家から一歩踏み出してみませんか。保育サロンや母親クラブなどで仲間づくりから始めてはいかがですか。

■問い合わせ 社会福祉課児童福祉係(☎0264)、子育て支援センター(☎02450)